



「3気筒式 C53形蒸気機関車」
©SADAO KIMURA

夢を運ぶ鉄道画の巨匠 木村定男の世界

2014年 9月13日(土) - 11月24日(月・休)

月曜休館(祝日の場合は翌日休館 ただし、10/14は開館)

開館時間: 午前9時~午後5時(観覧券の発売は午後4時30分まで)

観覧料: 一般500円(400円)/大高生250円(200円)/中学生以下無料 ※()内は、20名以上の団体料金

主催/長岡市教育委員会・長岡市 主管/長岡市栃尾美術館

後援/新潟日报社、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、長岡新聞社、栃尾タイムス社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

企画協力/七彩社 協力/フレーベル館

長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13
TEL:0258-53-6300 FAX:0258-53-6370
<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/museum/>


新潟文化祭
Nipponia Niigata

夢を運ぶ鉄道画の巨匠 木村定男の世界

2014年 9月13日(土) - 11月24日(月・休)

乗物絵本画家として知られる木村定男(きむら さだお)は、1922年、大阪府に生まれました。子どものころから絵を描くのが大好きで、大阪美術学校西洋画部本科で油彩画などを学びます。1943年海軍へ応召され、軍務で軍関連のポスターの制作などを行い終戦を迎えました。1945年、大阪市立都島工業専門学校の講師として2年ほど勤めたのち、乗物画が評価され、絵本画家の道を歩みます。子どもの頃に誰もが手にした乗物絵本に木村定男の名前がみられ、特に、「キンダーブック」「トッパンの絵本」「ひかりのくに絵本」「栄光社の絵本」などで、数多くの作品を描きました。1999年にその生涯を閉じるまで、闘病中も画用紙を手元に置いて描き続けました。

本展では、遺族のもとで大切に保管されていた膨大な作品群のなかから鉄道関係の原画を中心に紹介します。木村は寄贈以外、ほとんどの作品を手放さなかったといいます。そのため、本展は原画をみることのできる貴重な機会となります。蒸気機関車、電気機関車 新幹線などの鉄道の変遷や、海外の鉄道、唯一の物語絵本『おやすみブルートレイン』の原画などを紹介します。

あわせて原画に登場する車両や新潟県内を走った車両の模型を特別展示いたします。

木村定男の描く世界を心ゆくまでお楽しみください。



1991年頃、取材旅行にて



「雪原を走るC62」



「上越新幹線」



上越線の特急「とき」と急行「佐渡」

関連イベント

● ギャラリートーク

「木村定男の作品にみる新潟県の鉄道史」

10月19日(日) 午後2時~3時 要観覧料 申込不要
講師: 松本和明さん(長岡大学教授 鉄道史学会所属)

● ワークショップ

「プラバンで夢のマイキップを作ろう」

10月11日(土)、11月8日(土)

内容: プラバンで好きな行き先のマイキップを作り、キーホルダーにします。

時間: 各日①午前10時~正午、②午後1時30分~3時30分
定員: ①②とも先着15名(申込不要) 参加費200円

● みんなの鉄道作品展

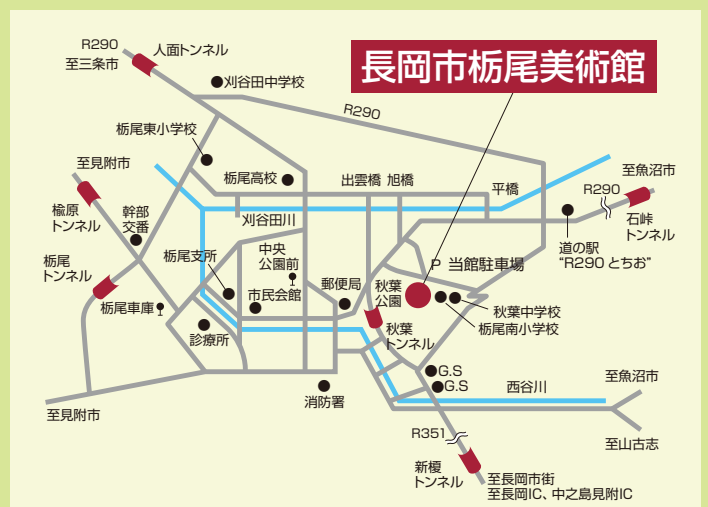
展示期間: 9月13日(土)~11月24日(月・休)

展示場所: 1階ギャラリー

市民のみなさんの鉄道をテーマとした作品を展示します。

10月14日(火)は「鉄道の日」

観覧される先着30名さまにおたのしみプレゼントをご用意しています。



長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町 1-13

TEL:0258-53-6300 FAX:0258-53-6370

<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/museum/>

●JR 長岡駅大手口11番線から見附経由栃尾車庫前行バス60分

●長岡駅東口4番線から、新榎トンネル経由栃尾車庫前行バス45分
「中央公園前」下車、徒歩15分または「栃尾車庫前」下車、タクシー5分

●JR 長岡駅東口からタクシー20分

●関越自動車道 長岡I.Cから40分 ●北陸自動車道 中之島見附I.Cから30分